

第262号

発行
特別養護老人ホーム光寿苑
まんさく編集委員会
和賀郡西和賀町湯本30-76-1
TEL 0197-84-2526
koujhu@fancy.ocn.ne.jp
題字 元理事長 太田 祖 電

まんさく

モンゴルからエンフトールさん(^^) 実直に仕事に励んでくれていますよ♡



西和賀町長に外国人技能実習生を支援下さるようにと
関係4法人で要望書を提出して参りました【2月5日】

光寿会2人目のモンゴル人実習生
エンフトールさん
“エンフトール”
【令和3年1月21日】

1月21日より、光寿苑に来てくれたエンフトールさんです。通常であれば、昨年初夏には実習開始予定でしたが、コロナ禍で入国が遅れ、半年予定が延かておりました。これで光寿会には2名、他の町内法人も合わせると、3月には8名のモンゴル人実習生が介護現場に尽力する町民と成ってくれる事に！
多くの職業で人手不足が深刻化する中で、大変に貴重な人材と成ってけると期待しています。(ぜひ、見かけましたらお声掛けくださいませ)
すべては、利用を必要とされるお年寄りとそのご家族、もっと言えば町民の暮らしを守る思いの一手である事。その現場を護り続けてくれる職員の元氣と成って欲しい術であります。

【光寿会理事長】

お年寄りの暮しのよりよい事を探し続けます

【生活】「⑦介護部門…こまち通り」 ☆金子利加子☆

法人キーワード	2020年度共通のキーワードは『観る』					
2020年度上半期のイメージ	テーマ	お年寄りと目線を合せて「観る」				
	理想像	<table border="1"> <tr> <th>目標 ①</th> <th>目標 ②</th> </tr> <tr> <td>お年寄り一人ひとりに向き合っていく</td> <td>今日が最期の日になっても後悔しない介護</td> </tr> </table>	目標 ①	目標 ②	お年寄り一人ひとりに向き合っていく	今日が最期の日になっても後悔しない介護
	目標 ①	目標 ②				
お年寄り一人ひとりに向き合っていく	今日が最期の日になっても後悔しない介護					
具体的な取組み (いつ、何を、どのように)	<table border="1"> <tr> <td> ①自分がされて嫌な介護はしない。 ②仕事に入る前は、気持ちを整える。 ③身体の苦痛を軽減する工夫をしていく。 ④お年寄りの動作・時間軸に合わせる。 ⑤報告連絡相談をしっかりとっていく。 </td> <td> ①言葉を交わす時間を大切にする。 ②ドライブや外出を増やし、四季を感じてもらったり、気分転換を図る。 ③日々の生活や様子を写真に残していく。 ④気になるお年寄りについては、ユニット内でケアカンファレンスを開き、見直し・共有していく。 </td> </tr> </table>	①自分がされて嫌な介護はしない。 ②仕事に入る前は、気持ちを整える。 ③身体の苦痛を軽減する工夫をしていく。 ④お年寄りの動作・時間軸に合わせる。 ⑤報告連絡相談をしっかりとっていく。	①言葉を交わす時間を大切にする。 ②ドライブや外出を増やし、四季を感じてもらったり、気分転換を図る。 ③日々の生活や様子を写真に残していく。 ④気になるお年寄りについては、ユニット内でケアカンファレンスを開き、見直し・共有していく。			
①自分がされて嫌な介護はしない。 ②仕事に入る前は、気持ちを整える。 ③身体の苦痛を軽減する工夫をしていく。 ④お年寄りの動作・時間軸に合わせる。 ⑤報告連絡相談をしっかりとっていく。	①言葉を交わす時間を大切にする。 ②ドライブや外出を増やし、四季を感じてもらったり、気分転換を図る。 ③日々の生活や様子を写真に残していく。 ④気になるお年寄りについては、ユニット内でケアカンファレンスを開き、見直し・共有していく。					



2020年度上半期検証	<p>『目標①について』 ⇒概ねできたと思うが、⑤についてはお年寄りの居室移動や他ユニット職員のヘルプによる日常の中で、報告・連絡が行き届かない事が多く見られた。少ない人員で、いかにお年寄りの対応や業務がスムーズ且つ円滑に行えるかが今後の課題と思う。</p> <p>『目標②について』 ⇒①④に関しては、お年寄りの体調変化やその時々様子・問題点などを何度も話し合い、対応できたと思う。 ⇒②については、季節を伝える事くらいしか出来なかった。 ⇒③撮影はしたが、写真には出来なかった。</p> <p>【結果目標】 上半期と変わった箇所は、<u>下線</u>を入れて掲載。</p>
-------------	--



2020年度最終的イメージ	テーマ	お年寄りと目線を合せて「観る」				
	理想像 下半期	<table border="1"> <tr> <th>目標 ①</th> <th>目標 ②</th> </tr> <tr> <td>お年寄り一人ひとりに向き合っていく</td> <td>今日が最期の日になっても後悔しない介護 <u>お年寄りに安心した暮らしを送って頂く</u></td> </tr> </table>	目標 ①	目標 ②	お年寄り一人ひとりに向き合っていく	今日が最期の日になっても後悔しない介護 <u>お年寄りに安心した暮らしを送って頂く</u>
	目標 ①	目標 ②				
お年寄り一人ひとりに向き合っていく	今日が最期の日になっても後悔しない介護 <u>お年寄りに安心した暮らしを送って頂く</u>					
具体的な取組み (いつ、何を、どのように)	<table border="1"> <tr> <td> ①自分がされて嫌な介護はしない。 ②仕事に入る前は、気持ちを整える。 ③身体の苦痛を軽減する工夫をしていく。 ⇒職員が体験をし、その状態を確認していく。 ④お年寄りの動作・時間軸に合わせる。 ⑤報告連絡相談をしっかりとっていく。 </td> <td> ①言葉を交わす時間を大切にする。 ②ドライブや外出を増やし、四季を感じてもらったり、気分転換を図る。 ③日々の生活や様子を写真に残していく。 ⇒2カ月に1回ペースでプリントアウト ④気になるお年寄りについては、ユニット内でケアカンファレンスを開き、見直し・共有していく。 </td> </tr> </table>	①自分がされて嫌な介護はしない。 ②仕事に入る前は、気持ちを整える。 ③身体の苦痛を軽減する工夫をしていく。 ⇒職員が体験をし、その状態を確認していく。 ④お年寄りの動作・時間軸に合わせる。 ⑤報告連絡相談をしっかりとっていく。	①言葉を交わす時間を大切にする。 ②ドライブや外出を増やし、四季を感じてもらったり、気分転換を図る。 ③日々の生活や様子を写真に残していく。 ⇒2カ月に1回ペースでプリントアウト ④気になるお年寄りについては、ユニット内でケアカンファレンスを開き、見直し・共有していく。			
①自分がされて嫌な介護はしない。 ②仕事に入る前は、気持ちを整える。 ③身体の苦痛を軽減する工夫をしていく。 ⇒職員が体験をし、その状態を確認していく。 ④お年寄りの動作・時間軸に合わせる。 ⑤報告連絡相談をしっかりとっていく。	①言葉を交わす時間を大切にする。 ②ドライブや外出を増やし、四季を感じてもらったり、気分転換を図る。 ③日々の生活や様子を写真に残していく。 ⇒2カ月に1回ペースでプリントアウト ④気になるお年寄りについては、ユニット内でケアカンファレンスを開き、見直し・共有していく。					

コロナ禍と人手不足という苦難が続く中でも

【生活】「③栄養士・調理部門」 ☆高橋奈々子☆

法人キーワード	2020年度共通のキーワードは『観る』					
2020年度上半期のイメージ	テーマ	毎日「おいしく」食べて頂く。				
	理想像	<table border="1"> <tr> <th>目標 ①</th> <th>目標 ②</th> </tr> <tr> <td>お年寄りの声を聴き、食べたいような食事を提供する。</td> <td>美味しく、安心・安全な食事づくりをする。</td> </tr> </table>	目標 ①	目標 ②	お年寄りの声を聴き、食べたいような食事を提供する。	美味しく、安心・安全な食事づくりをする。
	目標 ①	目標 ②				
お年寄りの声を聴き、食べたいような食事を提供する。	美味しく、安心・安全な食事づくりをする。					
具体的な取組み (いつ、何を、どのように)	<p>① 1日1回はお年寄りの傍に行き、笑顔で声掛けをする。お年寄りの声を厨房に持ち帰る。</p> <p>② 現場協力の元で嗜好調査を行い、メニューに多く取り入れる。</p>	<p>① 全ての作業は『最終的にはお年寄りの元へ行く』ことを忘れず、衛生面等も含め、『あたり前のことをあたり前に』作業する。</p> <p>② 彩り・味付けを工夫し、普通食からソフト食まで美味しく、お年寄りが安心して食べて頂けるような食事づくりをする。</p> <p>③ 看取り期のお年寄りに、食べたい物を少しでも食べて頂けるよう皆で協力する。</p>				



2020年度上半期検証	<p>『目標①②について (全目標を振り返る)』</p> <p>⇒ 人員不足により、しばらくできていなかったソフト食の提供を一部再開することができた。</p> <p>⇒ 下膳の際、お年寄りへの声掛けをすることができた。</p> <p>⇒ お年寄りの食事内容・食器等、個別対応することができた。</p> <p>⇒ できるだけ季節に合った食事を提供することができた。</p> <p>⇒ 配食サービス利用の方の個別対応にも、積極的に取り組むことができた。</p> <p>【結果目標】 上半期と同じ目標で下半期も臨みたい。</p>
-------------	---



2020年度の最終的イメージ	テーマ	毎日「おいしく」食べて頂く。				
	理想像	<table border="1"> <tr> <th>目標 ①</th> <th>目標 ②</th> </tr> <tr> <td>お年寄りの声を聴き、食べたいような食事を提供する。</td> <td>美味しく、安心・安全な食事づくりをする。</td> </tr> </table>	目標 ①	目標 ②	お年寄りの声を聴き、食べたいような食事を提供する。	美味しく、安心・安全な食事づくりをする。
	目標 ①	目標 ②				
お年寄りの声を聴き、食べたいような食事を提供する。	美味しく、安心・安全な食事づくりをする。					
具体的な取組み (いつ、何を、どのように)	<p>① 1日1回はお年寄りの傍に行き、笑顔で声掛けをする。お年寄りの声を厨房に持ち帰る。</p> <p>② 現場協力の元で嗜好調査を行い、メニューに多く取り入れる。</p>	<p>① 全ての作業は『最終的にはお年寄りの元へ行く』ことを忘れず、衛生面等も含め、『あたり前のことをあたり前に』作業する。</p> <p>② 彩り・味付けを工夫し、普通食からソフト食まで美味しく、お年寄りが安心して食べて頂けるような食事づくりをする。</p> <p>③ 看取り期のお年寄りに、食べたい物を少しでも食べて頂けるよう皆で協力する。</p>				

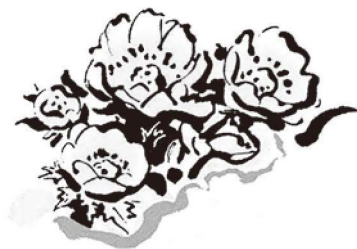
生きる意味を深く教示して下さった母



和泉トシさん【94歳】

いつも笑顔で、ジョークも交えて話し掛けて下さっていたトシさん。毎日、その笑顔に元気を沢山頂きました。最期の10日間、大切な娘様お2人に付き添われて、安心して過ごされたのねな。今までありがとうございました。

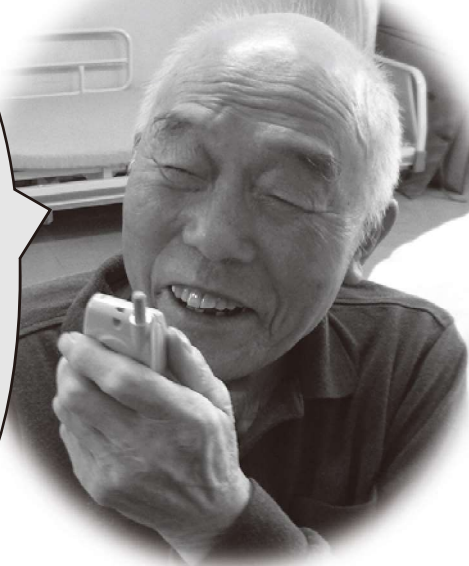
《担当・工藤美加子》



『今生より往く』

コロナ対策を整えています

換気の間です！
窓を開けて下さい♪



【右2枚】
和やかなオンライン面会実施風景♡

【左1枚】
お年寄りによる全館換気放送中～♡

想... 災害を捉える ***福島の今を拝聴します***

『1歳8ヶ月のお命が語り掛ける』 八幡朋行さん

3.11から9年11ヵ月…。いよいよ丸10年を目前に控え、連載中の八幡朋行さん(相馬市)より、幼い命から届けられる命のメッセージを語って頂きました。

1歳8ヶ月のお命が語りかける

まだ原発事故後の混乱が続いて

いた頃、1歳8ヶ月になるお子さんの葬儀を勤めました。「人生に「たられれば」はない」と言われま

すか、あの時、小さなお命から語り掛けられたものに対し、そんな簡単に「たられればはない」と言い切れるのか自問自答を繰り返し、今に至っています。

当時：ご悲報の知らせを受けてお伺いすると、お子さんは連休中、いつものように家族と元氣よく過ごしていたところ体調に異変をきたし、救急搬送先の病院で息を引きとり、ご自宅へ帰られたばかりでした。

どこからともなく「しゃぼん玉の歌」聞こえてきそうな、ご家族の冷たい涙がこぼれる中、お参りをさせて頂いた私に対し、お祖父さんがふりしぼるように、

「原発やなけれは：」とおっしゃったのです。その言葉で聞いた私は、とっさに、

「：そうですぬ：」と応えたものの、その言葉の意味を考えた。

元々、放射線被曝による被害の因果関係は不明瞭とされますが、お孫さんの死に直面し、行き場のない感情をその言葉で納得しようと努めておられるのか？しかし、原因究明でないとするならば、お孫さんにしてあげられなかった事への反省や後悔の言葉となります。

原発事故が起きなければ、避難指示区域による通行止めや交通規制もなく、適切な救急医療の選択肢は広がったはずだし、何よりも屋内待機を気にせずもっと外で遊ばせてあげられたのにとの：。

いよいよ火葬場へ向かう間際、小さな棺に寄り添うお父さんとお母さんを、参列者が心を重ね見守っていました。お父さんが、傍らにいた私に向かい、

「ウチの子はわがままだからダメと辛抱させてきたけれど、最後まで甘い甘やかしていいですか：」

と尋ねられたので、

「好きな玩具を持たせましょう。」

相馬市 八幡朋行



と賛同しました。お父さんが、まるで玩具箱に飾るかのように並べる横から、お母さんの

「もうこの手で抱けるのは最後だね：」

とかすかに震える声で響きました。それは、わが子にできることしたらこれだけは：との温かい愛情でありました。

通常、浄土真宗の教えから、娑婆の物は必要のない浄土へ還るのでしたら、お棺に愛用品等入れる事はありません。しかし、あの時、小さなお命から語り掛けられたものの前で、それは言葉で伝えませんでした。

今月の登録者の方々
17名様です♪

小規模多機能ホーム「ひなたぼっこ」
住宅型有料老人ホーム「湖畔の宿」

第5回『運営推進会議【書面】』（1月20日）

令和3年1月20日
【書面会議】

令和2年度 第5回 ひなたぼっこ運営推進会議

1. 代表挨拶

新年となりました。遅ればせながら、本年も宜しくお願い致します。
コロナ禍と大雪、人換不足に見舞われ、中々心身晴れない日が続きますが、自然界からの大きいメッセージ、現代人がいかにあるべきか問われている時と肝に銘じ、介護現場の私たちも何とか踏ん張っている次第です。
この度も世情を考慮し、『書面会議』の形式をとらせて頂きました。書面だからこそお気づきになれる事もあるかと存じます。
何とぞ、宜しくお願い致します。 合 掌

2. 報告・議事

- 【イ】 利用状況および活動報告 …… 2頁
- 【ロ】 光寿会ホームページリニューアルについて …… 7頁
- 【ハ】 コロナウイルス対策会議録（1月15日付）について …… 8頁
- 【ニ】 外部評価のまとめについて（刈田） …… 別冊

※ 先月お手元にお送りしておりました評価表にご記載頂き、返信用封筒にてご返信下さい。

※ ご意見、ご質問等ございましたら、別紙様式にご記入ください。また、議事内容の了承の賛否についても回答頂たく、こちらもO印記載の上、返信用封筒ご活用頂きご返信ください。

（委）理事長はじめ、職員の皆様お疲れ様です。コロナ禍で行事等が全て中止になり、とても残念でなりません。広報紙「まんさく」やリニューアルした光寿会ホームページを拝見させて頂き、デザインも程よく出ており感謝しました。日頃のご活躍、感謝申し上げます。一日も早く、日常生活に戻れる日を願いつつ、皆

書面会議

様の健康をお祈り申し上げます。
（委）泊まりサービス利用は厳しいでしょうが、（職）職員体制を注視しながら、実行可能な対応を検討しています。
（委）オンライン面会が可能となり、遠方在住のご家族も様子を知らず事やできて良かったと思う。オンライン面会の感想等も知らせて頂けると良いと思う。
（職）より良くするため広報紙等で検討中。

おかげさまでした

寄贈

- ☆ 田村義光 様 [上野々]
- ☆ 匿名 様 [西和賀町]
- ☆ 菅原康悦 様 [滝沢市]
- ☆ 高田牧美 様 [秋田県]
- ☆ 小松陽子 様 [秋田県]

★=光寿苑、☆=ひなたぼっこ

寄附

- ★ 宮川 智恵子 様 [島根県]
- ★ 匿名 様 [西和賀町]
- ★ 匿名 様 [西和賀町]

ボラ

- 夕食介助お手伝い (1/1~1/31)
- ★ 匿名 様 [湯本]

光寿会への支援

『節分』

2月3日とばかり思っていた節分…。36年ぶりに日がずれた事で多くの国民が驚いたのではないだろうか（私も知らなかったですが…）。36年前は1984年で、この時の節分は2月4日だったそうなのですが、覚えている方はどれだけいるのでしょうかね？（笑）

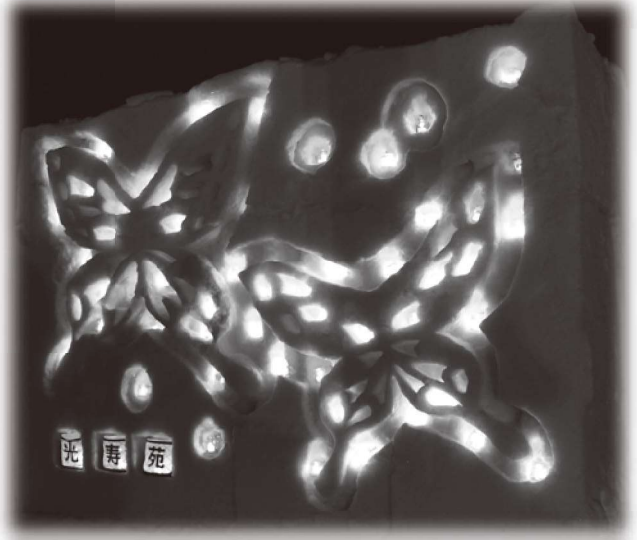
鬼も福も内に居る！



第60回

地域の窓 『光寿苑雪あかり & 雪見そりフォト』

【コロナ禍で中止の雪あかり…心だけでも灯りをと思い、過去の写真をどうぞ♡】



第87回

第87回目も今年度より家族会事務局長に就任されました藤原輝夫氏より一筆頂戴致しております。



事務局長
藤原輝夫氏

その後、デイサービスはつかたくりへ月・水・金と子回利用し、他に光寿苑のショートステイを月の半分ほど利用させて頂いていた。令和に入り、妻の股関節が、前年手術したのとは反対の方が時々痛む事があり、また入院する事になった場合を考え不安になり、母の入居申込みをしていた。12月には先々思っていたら、1ヶ月に入り光寿苑から電話があり、入居できますかどうしますかと。思ったより早くその時が来てしまった。次はいつになるか分からないと考えると、令和元年12月12日、光寿苑入居の運びとなったのだ。

【次号へ続く】

母トシ子のこと③

元気です！家族会♪

正直ほど、富める遺産はない

《シエークスピア》

第61回

マルタン序

自然法爾

〔じねんほうに〕



イラスト：1000

この方、大正生まれの気質で、口癖は「若い者には負けませんよ〜」だったり、3.11の震度5の揺れの後も、「何のこれしきの揺れ、何でもありませんよ！フエツエツ!!」等、常に強気の言動が印象的な方だった。こんな大先輩に支えられてきた嘗てと感極まる今。

おわりに

コロナとの戦いが続く毎日だが、私はこれとは別のニュースの行方を気にしていた。アメリカの大統領選挙である。トランプ政権が終わるか、また4年、うとうとしい日々が続くか。

この大統領下のアメリカ政治は、彼の発する「フエイク」(うそ)という言葉が振り回された。メディアの報道に、大統領が証拠を示さずフエイクだと突きつける。こういう事が常套(じょうと)になった。

このアメリカの政治風潮は、友好国日本にも及んだ。与党政治家も官僚も自己保身に走り、知らぬ存ぜぬの一点張り。子どもたち

の道徳心は言うまでもなく、国の尊厳をどれほど傷つけたことか。この視点から政治風潮を問題にするメディアもなかったように思う。新大統領下のアメリカでは、

「とりあえず民主主義は勝利した」

というのがメディアの眼のようだ。ニューヨークタイムズの記者は言う。

「だがこれは、混沌の小休止だ」

「正直であれ」とは私たちの常識だった。

「だが、現代の辞書には、

「自分に不利でないかぎり」

とでも付言や添えられているのだらうか。

「脚下(きゃか)照顧(ていごん)」

丸田善明

光寿会ホームページを新たに更新(光寿会にしわがで検索)した。一方で、人員体制の厳しさを余り休しなげればならない現状を抱えている。マイナ面を公開する事は、却って逆効果を生むかと懸念もある。町民ニーズにも応えられない事実であり、初代院長受宣氏が創設した事業の一つをこの様な形で...と思うと、心底苦悩した。...しかし、大切なのは形を護り続けるよりも、理念をどう実践するかにないかという決めた。生きる意味を発見し合える道場への理念は、事業縮小の一方で、質を豊かに保つ事と念じ進めたい。(宣)

※人員が整った暁には、再稼動致します。